

対談行事のおしらせ

「東大・特撮」

第一回 いつまでもあの怪獣の名を

対談：遠藤秀紀 対 小川健司

司会：喜多村 武

特撮映画映像作品を語ります。現実には見ることができない光景を創造し、表現するのが特撮の本質。ゆえにそこに強烈な物語が盛られ、映像作品が生み出されます。日本での歩みをたどると、戦時、敗戦、復興、高度成長、バブル、デフレ、超高齢と、日本特異の心と社会を背景に、特撮は愛すべき歴史を歩んできました。そこには、SF文壇の開闢、表現リアリティの追求、技術文明の深化、戦争の惨劇、核兵器の恐怖、大衆伝達の変容、合理主義経済の台頭、宇宙探査の夢、といった不可避な情勢が作品を取り巻いていきます。私のような身体を命を見つめる解剖学者は、異形を生みつつ人と社会の業に迫る特撮と、表現を分かち合ってきたといえるでしょう。第一回企画は、対談「遠藤秀紀 対 小川健司」。東京大学総合研究博物館の遠藤秀紀（解剖学）と理化学研究所の小川健司（ウイルス学）が、特撮を正面から論じ合います。

対象：一般成人

参加費は無料です

参加申し込み

往復はがきに、1 氏名、2 年齢、3 住所、4 電子メールアドレス、5 電話番号、6 「特撮映像作品への思い」の6項目を記入して、以下まで郵送してください。

〒113-0033

東京都文京区本郷 7-3-1

東京大学総合研究博物館 「東大・特撮」係

遠藤秀紀宛

申し込み締め切りは2018年10月20日（土）です。恐縮ですが、定員を超えましたら、抽選で受講者を選ばせていただきます。往復はがきの返信にて、参加していただけるかどうかのお返事をお送りします。

開催日時

2018年11月10日（土）

午後3時から午後4時30分

会場

〒113-0033 東京都文京区本郷 7-3-1

東京大学総合研究博物館本館

URL : <http://www.um.u-tokyo.ac.jp/>

（当日は展示は閉館日ですが、対談行事は開催します。）